

ふるさと歴史散歩 120

～松前史談会レポート～

出作1番地を訪ねるI

北伊予の伝承第11集に出作の小字38カ所が収録されているが、うち21カ所が由来不詳とされている。その数は決して少なくない。なぜだろうか。

松前町誌115ページ(弥生時代)、117ページ(古墳時代)に詳しく述べられているように、宝剣田遺跡・出作遺跡は西日本有数の祭祀遺跡として知られている。松前史談31号で大政邦和さんが考察しているように、最近の上三谷篠山・鶴吉幸殿にかけての大規模な発掘調査の結果が出て両者との関連が明らかになれば、上黒岩遺跡から行道山北麓扇状地に連なる壮大な古代人の移動を想像することが可能になる。徳丸の高忍日売神社は、「高雄の森」といわれ墳丘が二つあったと伝えられているので、上三谷・鶴吉・徳丸・出作にかけて強大な部族集団の成長があったのではないかと考えられる。由来不詳の小字から、そんなことも考える。

昭和の初めに国鉄が開通するまでは未開発であった北伊予駅周辺で、「町畑」や「伊予の本郷」と呼ばれる由来不詳ながら由緒ありげな地名の場所から出た貴重な出土品。おそらく、相当早く開発された地区がなぜ長い眠りに就いたのか。町誌は、嘉元四(1306)年の石清水八幡宮文書にある神崎出作村の記録を根拠に、神崎荘民が荘の境を越えて耕作したと村の起源を考えている。

次号に続く。

1 大形甕形土器

昭和7年出土。県下でも最大級

2 宝剣=有柄式石剣

昭和40年ころ宝剣田遺跡より出土

※1、2いずれも弥生時代後期のもの。二名神社蔵。町誌1193ページ参照



5月のふるさと歴史散歩は、休みます。

◎ 松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



2人で一緒にホッケーを頑張る

有光翔吾くん 門屋七稀くん

Arimitsu Syogo

北伊予小6年・中川原

Kadoya Naki

北伊予小6年・徳丸

北伊予小学校6年生の有光翔吾くんと門屋七稀くん。ホッケーを頑張る男の子です。

七稀くんがホッケーを始めたのは5歳のとき。たまたま公園で見かけたホッケーのユニフォーム姿の上級生に声を掛け、やってみたことがきっかけでした。「自分で攻めてゴールを決められたときがうれしい」と魅力を話す七稀くんは、4年生になるときに仲良しで体力もある翔吾くんをホッケーに誘いました。「サッカーをしていたけれど、ホッケーをしてみると楽しくて」と話す翔吾くん。七稀くんはトップで、翔吾くんはディフェンダーとしてホッケーを頑張っています。

「レベルを上げて全国との差を埋めたい」と、県外チームとの試合の経験から力強く話す翔吾くんと七稀くん。練習以外でも、家でシュートやボールの扱いの練習をするなど、個人の技術向上を図っています。

七稀くんを「シュートが速い」と翔吾くんが話せば、「ピンチのときに止めてくれる」と七稀くんが翔吾くんのことを話し、息がぴったりの2人。翔吾くんが奪ったボールを七稀くんへパスをしてシュートを決める。「やめたいと思ったことはない」と話し努力を続ける2人のコンビネーションで、全国の強豪を打ち崩していくことでしょう。



1歳です。よろしくね

にしおか そうじろう
西岡 蒼士朗 くん

神崎

平成26年5月4日生

(父) 大介さん (母) 由岐子さん

いつもお母さん達を笑顔にしてくれてありがとう。



募集 7月に1歳になるお子さんを
広報まさきに掲載しませんか

背景が明るい横長の写真(デジタルデータも可。USB不可)を総務課まで持参してください。*先着6人です。申し込み用紙に名前、住所、お子さんへのメッセージ(25文字程度)を記入してもらいます。

募集期間 5月1日(金)～5月29日(金)

▶総務課広報情報係 ☎ 985-4132

おうちで給食

recipe 75 おこのみ天



【エネルギー 193kcal(1人あたり)】

Point ウスターソースと青のりの風味が、お好み焼きを想像させます。豆腐が入ってヘルシーな1品です。

●材料● (4人分)

押し豆腐……………50g	薄力粉……………大さじ2
かまぼこすり身……………150g	ウスターソース……………小さじ2
キャベツ……………100g	あおのり……………適量
ゆでだこ……………80g	卵……………1/2個
葉ネギ……………1本	食油……………適量

●作り方●

- 1 たこはぶつ切り、キャベツは荒みじん切り、ネギは小口切りにする。
- 2 ボウルに材料を入れ、よく混ぜ合わせてボール状に形を整え、170℃の油で色よく揚げる。